日本共産党の地域新聞　発行所：日本共産党夕張市委員会　夕張市千代田２番地の２　TEL &FAX　52-3097　　2013年７月21日（日）1457号（1）

民報 ゆうばり

「石炭博物館」条例変更実現！

博物館+炭鉱遺跡群で郷土文化施設（教育委員会）へ！

６月議会において、「夕張市石炭博物館設置条例」が変更され、担当課もこれまでの産業課から教育委員会へ変更になりました。

◆◆◆◆

新しい条例は「夕張市郷土文化施設設置条例」（下図）で、これまでの博物館のみの条例ではなく、ＳＬ館や炭鉱生活館・ゆうばり化石館・炭鉱遺産群として旧坑道の入口や跨線橋・橋・隧道、鎮魂の像なども含めた条例となっています。

歴史をさかのぼると、１９７０年に「市民からの寄贈資料を基にした「夕張市郷土資料室」。その後、石炭産業の資料を中心に、収集・展示を行う「夕張市炭鉱資料館」となり、道内でも数少ない、産業に関する資料館に。

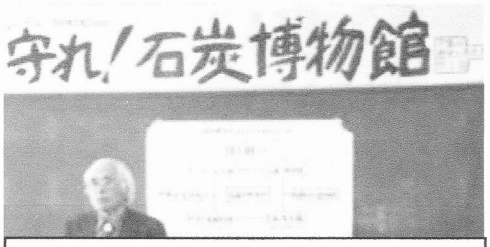
昨年７月博物館で開催した「全国産炭地キャラバン展IN夕張」

「炭鉱から観光へ」観光課

石炭産業の斜陽化を受け、夕張市は石炭産業に代わるものとして、「炭鉱から観光へ」というまちづくりを模索。１９８０年、石炭の歴史村」の整備に合わせて、その中核施設として観光施設「石炭博物館」オープン。

「産業遺産として大規模修繕」産業課

２０１０年の「石炭博物館のあり方検討委員会報告書」では…大規模修繕の必要性と、開館以来、主に市外からの観光集客施設として位置づけられ、このことが市民の間に一定の「距離感」を生み、…持続可能な石炭博物館の維持のためには、市民の理解と協働が不可欠。…将来には、石炭博物館という単館施設だけではなく、「石炭の歴史村」エリア全体を活性化する必要がある。市内に残された石炭産業遺産を、時とともに失わせることなく、こうした資源を活かしたまちづくりに取り組んでいく方策の検討とが重要…という答申も出されていましたが、実現されてきませんでした。



2011年１月「守れ！石炭博物館フォーラム」

２０１１年３月には、〝我が国の近代化を支えた石炭産業の貴重な歴史と地域文化を後世に継承する施設〟として「夕張市石炭博物館設置条例」が設置され、観光課から産業課の所管へ移され、施設の補修・維持管理を行ってきた経緯があります。

「博物館は市民の宝」―市民の社会学習に33年ぶりに実現！

『夕張の歴史と文化を学ぶ会』（田巻松雄・上木和正共同代表）の矢野牧夫共同副代表らとともに活動を進めてきた、くまがい桂子市議は、これまでの議会質問の中で「市内各地の旧坑口・美術館・図

夕張市郷土文化施設設置条例（概要）

（目的）

第１条　この条例は、貴重な歴史と地域文化を後世に継承する郷土文化施設として、夕張市郷土文化施設（以下「施設」という。）の設置について必要な事項を定め、もつて、市民の教育、学術、文化及び地域の発展に寄与することを目的とする。

（名称及び位置）

第２条 施設の名称及び位置は、次のとおりとする。

1 夕張市石炭博物館・・・高松７番地
2 SL館・・・高松１番地
3 炭鉱生活館・・・高松７番地
4 ゆうばり化石館・・・〃

5 炭鉱遺産群
(1)旧北炭夕張炭鉱北上坑坑道入口
(2)旧北炭夕張炭鉱千歳坑坑道入口
(3)旧北炭夕張炭鉱最上坑坑道入口
(4)旧北炭夕張炭鉱長良坑坑道入口
(5)旧北炭夕張炭鉱西斜坑坑道入口
(6)旧北炭夕張炭鉱千歳坑扇風機風道坑道入口
(7)旧北炭夕張炭鉱石狩坑坑道入口
(8)旧北炭夕張炭鉱隅田坑坑道入口
(9)旧北炭夕張炭鉱天龍坑人車斜坑坑口
(10)旧北炭夕張炭鉱天龍坑資材斜坑坑口
(11)旧北炭夕張炭鉱神通坑坑道入口
(12)旧北炭夕張炭鉱模擬坑道（史蹟夕張砿）
(13)夕張の石炭大露頭
(14)採炭救国坑夫の像（進発の像）
(15)旧北炭夕張炭鉱専用鉄道高松跨線橋
(16)旧北炭夕張炭鉱高松ズリ捨線扶橋
(17)旧北炭夕張炭鉱高松ズリ捨線スキップ隧道
(18)旧北炭夕張炭鉱高松ズリ捨線ベルト隧道西坑門

6 鎮魂の像

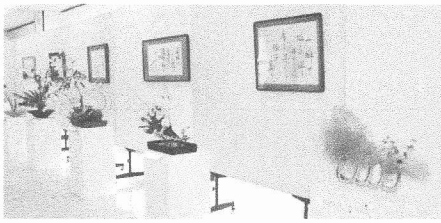
「市民向けの事業を」教育委員会

書コーナーの資料等も含め、炭鉱遺産群として条例化し、きちんと残していく方策をとること。また、市民の宝である、この博物館を、社会教育施設として有効に市民が利活用できるよう『博物館友の会』等の設置も含め、現在所管している産業課ではなく、教育委員会が所管し、子どもたちや市民の社会教育の場として活用を」と提案をしてきました。

教育委員会の石炭博物館担当職員は、「これまでも学術指導という立場で指導助言はしてきたが、これからは担当所管として市民向けの事業を考えていきたい。

財政再生団体という予算の都合上、博物館類似施設というくくりだが（博物館みなし施設：全国の７割がこの形態）市民と協働できる『博物館友の会』なども視野に検討を進めています」と話していました。

～～～「第43回　雪月花展」開催される～～～



第43回雪月花展が、７月17日から20日まで、市民研修センターにおいて開催されました。

雪月花展では、雪【短歌・俳句・川柳】の方が作歌した歌と句を、月【書道】と、花【華道】の方がそれぞれの部門で表現し、毎年展示を続けています。

夕張の雪月花展は香り高い文化、また、風物詩としてこれまでも多くの人々に親しまれてきましたが、今年も【雪】【月】【花】で合計72点の力作が出品され、市民の目を楽しませていました。

夕張夢再生館『ボランティア愛ランド』出店

オープニングコンサートは波多野信子さん！

７月７日、「ボランティア愛ランド北海道2013 IN夕張」のオープニングを飾った、波多野信子さんと久々の再会！（「十数年前音楽イベントでご一緒しました」―夢再生館代表三島さん・「新婦人や緑が丘保育園で一緒に子育て・活動しました」―くまがい桂子市議）

第21回夕張高校学校祭　7/6～7/7　今年も元気に！

はたやま和也『かけある記』

最後のお願い

日本共産党・道政策委員長
はたやま和也

参院選も間もなく投票日。私も最後まで、政党カーから日本共産党の政策と持っている力を訴えます。

選挙期間中、いろんな出会いがありました。千歳市では、自衛隊との共同訓練で来ていた米兵と同じホテルに！　思わず身構えてしまいましたが、政党カーの「日本共産党」という漢字がわからなかったようです。

福島県から避難してきた、という方ともお会いしました。「新聞やテレビでは報じてないけど、自殺している農家もいるのよ」との言葉が、胸に突き刺さります。その翌日に、福島では汚染水が海に流れているとの報道がありました。

「六十kgあった体重が、戦場で三十kg台まで減った」と戦争体験を話してくれた、高齢の男性。「子どもたちには、平和な社会を残しましょう」とガッチリ握手しました。

政党カーに近づいてきて「社会党を応援し、民主党も応援してきた。でもTPPはダメだと、選挙区候補にも言ってやった。共産党が頼みだ」と、ものすごい勢いで話される男性もいました。

自転車を止めて最後まで話を聞く若者の姿、演説が終わったとたんバッと窓を開けて手を振ってくれた団地の方、抱っこした赤ちゃんの手を取って手を振り返してくれる若いお母さん・・・毎日どこかで、必ず新しい出会いがあります。

最後のお願いになります。もっともっと、日本共産党のことをお広げください。日本共産党が伸びれば、必ず政治を変えられます！